

特集

ED をあなどるなかれ

知っておきたい最近の話題

企画にあたって

第一次ベビーブーマーの世代が75歳の後期高齢者となる2025年問題が目の前に迫ってきています。日本ではすでに高齢者層が若い世代に経済的に頼ることが難しい時代を迎えており、今後高齢者は経済的にも自立しなければなりません。そのためには、健康を維持し、活力のある生活を送っていくことはきわめて大切な課題となります。ここに「男性の健康とED」という問題が、われわれ泌尿器科医の間で、浮上してまいります。

現在、EDは心血管疾患の前兆と考えられています。ガイドラインでは、EDのリスクファクターが13項目挙げられており、高脂血症や糖尿病、高血圧症など、全身に影響のある疾患も含まれています。逆にいえば、EDのリスクファクターを減らすことができれば、健康を取り戻せるということです。さらに、EDを予防することも男性の健康寿命を延ばすうえで大切です。「EDをあなどるなかれ」—これが、われわれ泌尿器科医、性機能専門医の合言葉です。

ED診療ガイドラインは2012年に改訂されました。ED診療に関しても、日々新しい論文が発表されており、それにしたがって知識をアップデートしていかなければなりません。ED診療ガイドラインも新たに改定委員会が組織され、改訂作業に入りました。

今回、本誌の特集でEDの話題を扱うことになりました。『ED診療ガイドライン2012年版』を基本に、以後発表された主要論文のデータも含めてup-to-dateな話題を届けたいと思います。

川崎医科大学
泌尿器科学教室

永井 敦